

躍動 高度成長への

昭和40年



昭和42年4月8日 国道3号バイパス開通 (八女)

昭和39 (1964) 年に東京オリンピックが開催され、東海道新幹線も開通。日本は本格的な高度経済成長の時代に突入します。八女市周辺でも、交通機関の拡張や大規模な開発が相次ぎました。昭和41 (1966) 年には、上陽町の仏尾地区にバス路線が運行を始めます。翌42 (1967) 年には、大島・矢部川間を結ぶ国道3号バイパスが開通しました。昭和48 (1973) 年には、待望の九州縦貫自動車道の八女インターチェンジが開設され、その後、八女市と九州各地や本州とを結ぶ重要な玄関口となりました。

産業分野では、八女市の忠見地区の丘陵地に大規模な茶畑を造成する県営開拓パイロット事業が昭和48年に完了。現在も「八女中央大茶園」として、「茶のくに八女」のシンボリックな場所となっています。黒木町でも、傾斜地を切り開いたみかん畑の造成が進みました。上陽町の上陽産業株式会社など、企業の誘致も積極的に行われています。

一方、星野村在住の山本達雄氏が、広島から持ち帰って守っていた「原爆の火」が、役場内の「平和の塔」に転火されたのも昭和43年のことでした。

市庁舎完成 昭和45年 (八女)



九州縦貫自動車道八女インターチェンジ開通 昭和48年11月16日 (八女)



八女市広報創刊 (5月号) 昭和40年5月 (八女)



仏尾線バス開通式

昭和41年12月24日、堀川バス仏尾線の開通式。地元の人たちの強い要望が実ったもので、開通まで110世帯600人の人たちは、およそ7kmの道を歩いて北川内に来ていた。

開通式の後にバス3台と乗用車10数台が祝賀会場である下横山小集会室に向かったところ、地元の人たちが2階の窓や屋根から紙吹雪を降らせバスを歓迎した。(上陽)



第21回全国茶業大会へ向け出品茶園の管理指導 昭和41年11月 (黒木)



第21回全国茶業大会 昭和42年10月16日 茶産地案内 (星野)



上陽産業株式会社が設立(工場誘致第1号) 昭和42年(上陽)



立花町立体育館竣工 昭和42年12月8日 (立花)



平和の塔が完成 昭和43年8月6日

役場前に建設された平和の塔に原爆の火を山本達雄氏宅から転火する。(星野)



八女地区県営農地開発パイロット事業完了 昭和48年10月23日 (八女)